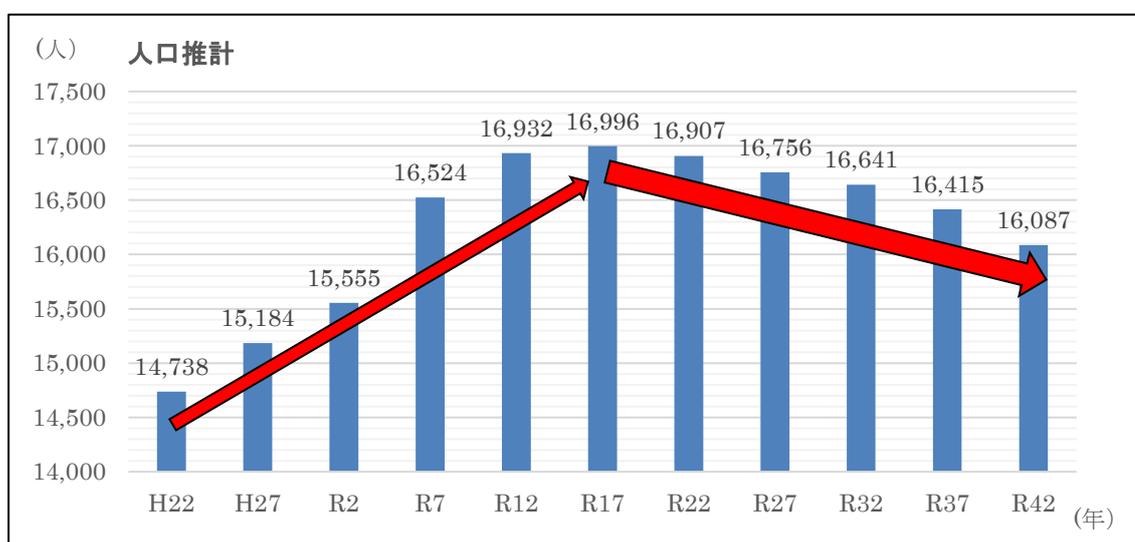


基本構想案

0 これまでとこれから

本町はこれまで、豊かな自然環境や交通の利便性、子育てや暮らしやすさといった強みにより、多くの皆さまに選ばれ、安定した人口増加を続けてきました。第3次計画（平成8年）以降の長期振興計画においても、超長期目標や理念として「2万人公園都市構想」を掲げ、魅力あるまちづくりを進めてきました。

しかし、全国的な少子高齢化の影響は本町にも及び、最新の人口推計では令和17年度以降、人口減少へ転じる見通しです。これまでの「人口増加を前提としたまちづくり」から、今後の人口減少社会を見据えた「持続可能なまちづくり」への転換が求められています。こうした背景を踏まえ、第6次長期振興計画では次の将来像を掲げました。



1 まちの将来像

未来へつなぐ サステナブルタウン 御代田

本町が今後も持続可能なまちであり続けるために、人口構成の多様化、地球環境の変動、社会経済の急速な変化といった課題に的確に対応しながら、住民一人ひとりが安心して暮らし続けられる地域づくりを目指します。

「未来へつなぐ」は地域の人々の想いを次世代へ引き継ぐ継承性を、「サステナブルタウン」は環境・経済・社会のバランスが取れた持続可能なまちの実現をそれぞれ表現しています。本町の強みを活かしながら、誰もが活躍できる、安心して住み続けられるまちを目指す姿勢を、将来像に込めています。 ※サステナブル:「持続可能な」という意味

2 まちづくりの理念

今後 10 年間、御代田町を次世代につなげていくため、次の3つをすべての施策の共通理念として位置づけます。

理念1.

多様性を認め合う共生のまち

(本町の強みである「移住者の受け入れ力」や「地の人との融和」を活かし、価値観の多様化を前提に、分断を生まない共通の価値観づくりと互いを尊重する地域文化の醸成を核としたまちづくりを推進します。)

理念2.

変化に強く、心地よく暮らせるまち

(災害に強く・気候変動に適応し・誰もが快適に暮らせるインフラ・生活環境を構築していきます。)

理念3.

帰ってきたくなるまち

(本町の将来人口維持と地域循環の核となる「Uターン促進」「地元企業との接点強化」を通じて、生活と仕事が調和し、人が根付くまちの形成を目指します。)

3 10年後に目指す基本目標(施策の大綱)

まちの将来像に基づき、3つの理念を全施策共通の理念として位置づけ、次の6つの基本目標を設定し、10年間取り組んで行くこととします。

1 安心・安全な暮らしのまち

すべての町民が日々の暮らしの中で安心を感じられるよう、防災・減災体制の強化や安全なインフラ整備に取り組みます。多様化する災害リスクや生活課題に対応し、強くしなやかな地域社会を築きます。

2 次世代を育む教育と文化のまち

子どもたちが郷土に愛着を持ち、健やかに成長していくための教育環境を整えるとともに、生涯にわたる学びの機会と文化に触れる場を充実させます。地域とのつながりを大切にし、次代を担う人材の育成を推進します。

3 活力ある地域経済と働く環境のまち

地域経済の持続的な成長を支えるため、農業・商工業・観光などの振興とともに、多様な働き方に対応した就業環境の整備を進めます。地元で働き、暮らし続けられるまちをめざし、人と企業が共に生きる基盤をつくります。

4 快適で環境にやさしいまち

自然環境と調和した快適な暮らしを実現するため、美しい景観と機能的な都市基盤の整備を進め、環境にやさしい生活様式を支援します。気候変動や猛暑などの新たな課題にも対応し、持続可能な暮らしの環境を整えていきます。

5 ともに支え合い築くまち

世代や立場を超えて支え合える地域社会の実現に向けて、地域で支え合える医療・福祉社会を構築していきます。こどもも高齢者も障がい者も、誰もが平等で生きがいを持って生活できるような環境を整備します。

6 信頼と協働による行政経営のまち

将来にわたり持続可能なまちを支えるため、健全な財政運営と柔軟で戦略的な行政体制を構築します。町民との対話や参画を大切にし、職員の育成とわかりやすい情報発信を通じて、町民と信頼でつながる行政経営を実現します。